

森林環境保全総合対策事業（拡充）

【平成29年度概算決定額 125,945（87,956）千円】

事業のポイント

多様で健全な森林環境の保全のための各種施策を推進するために必要な情報の収集・分析、調査、技術の開発等を実施します。

<背景>

（世界遺産に関する状況）

・我が国の世界自然遺産とその候補地について、世界遺産としての価値の保全及び向上を図るために、民有林・国有林及び関係省庁との連携を図りつつ、必要な調査や対策の検討を推進する必要があります。

（花粉発生源対策に関する状況）

・国民的な広がりを見せているスギ・ヒノキの花粉症については、花粉発生源対策として、花粉飛散量の把握や花粉飛散の防止を推進する必要があります。

政策目標

森林・林業基本計画等に基づき、多様で健全な森林環境の保全を図り、森林の有する多面的機能の発揮を目指します。

<内容>

1. 世界遺産の森林生態系保全管理の推進

我が国の世界自然遺産において、森林生態系の保全管理に必要な調査等を支援します。また、世界自然遺産の候補地である「奄美・琉球」の適切な森林の保全管理を図るための基礎となる植生分布図を作成するとともに、森林生態系の保全に配慮した森林の管理経営手法の検討を支援します。

2. 花粉発生源対策の推進

（1）スギ・ヒノキ花粉の飛散量推定等の推進

スギの花粉飛散量予測のための雄花着花状況調査を支援するとともに、ヒノキ花粉発生量の推定のための雄花観測技術の実証調査を支援します。また、森林所有者や林業関係者に対して花粉発生源対策に係る普及啓発活動を支援します。

（2）スギ雄花着花特性検査の高度化（新規）

スギの雄花着花特性を短期間かつ高精度で判定できる検査手法の確立を支援します。

（3）スギ花粉飛散防止剤の林地実証試験（新規）

花粉飛散防止剤の実用化に向け、ヘリコプターによる液剤の林地散布を実施し、空中散布の基本技術を確立するとともに、花粉飛散防止効果に関するデータの収集を支援します。

<補助率>

- 1 委託、定額
- 2 定額

<事業実施主体>

民間団体等

<事業実施期間>

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 | 平成25年度～29年度 |
| 2 (1) | 平成26年度～30年度 |
| 2 (2)・(3) | 平成29年度～平成33年度 |

[担当課：林野庁森林利用課]